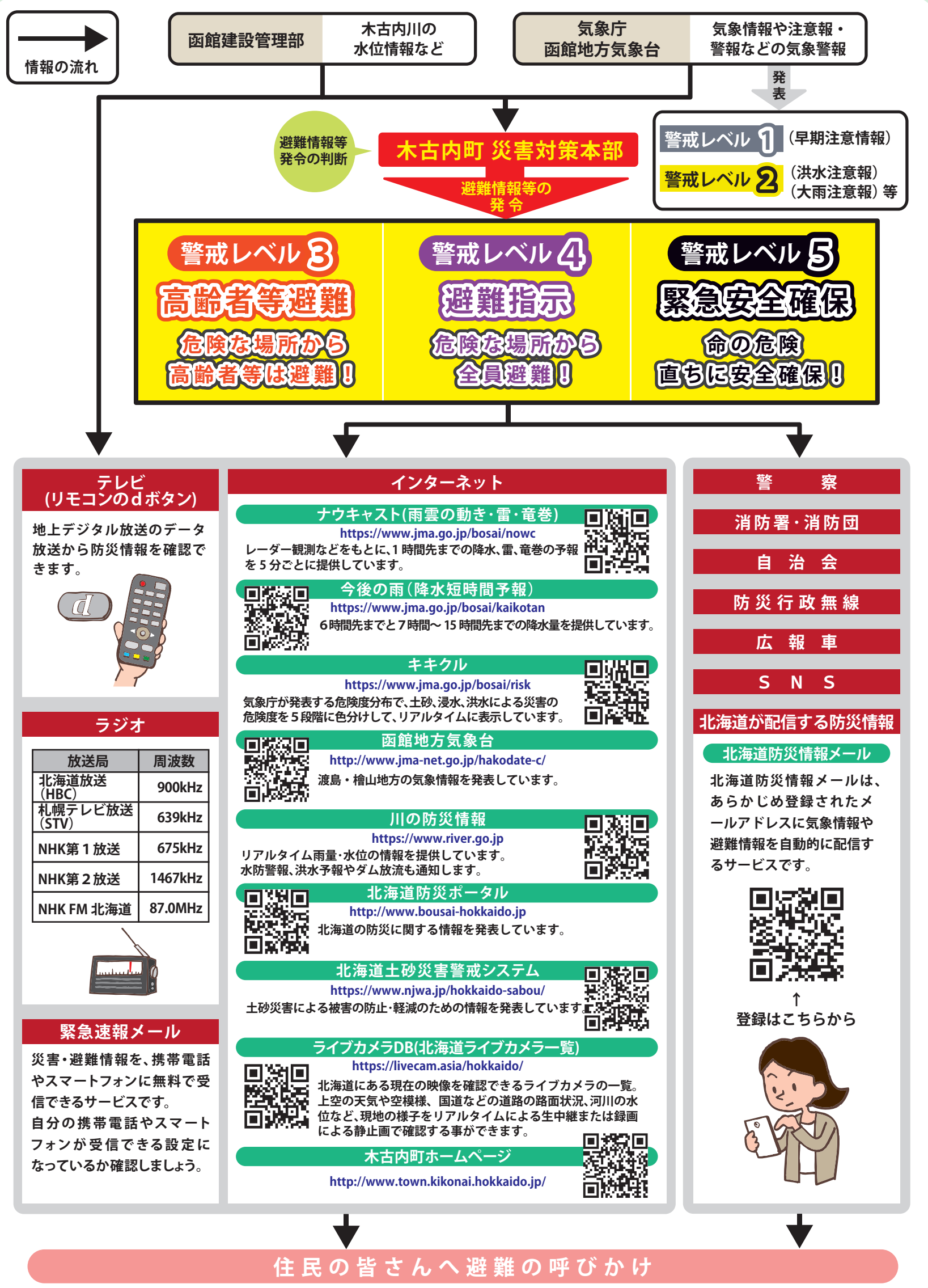


気象災害時の情報の流れと避難の呼びかけ

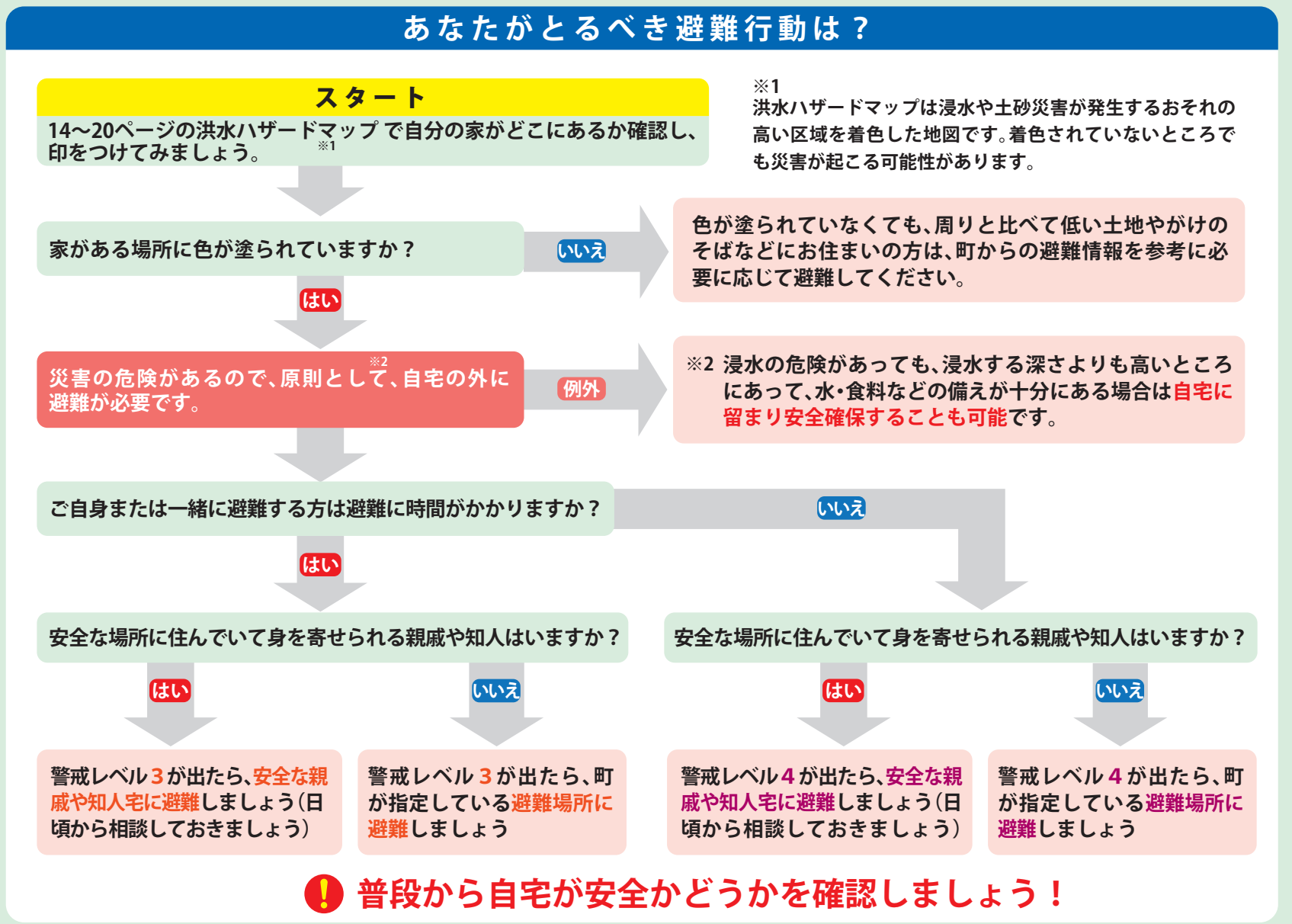
大雨などによる被害の発生が予想されるときは、その状況に応じて、町から避難情報等が発令されます。これらの情報は、テレビやラジオ、インターネット、緊急速報メールや町からの防災情報などによって住民の皆さんに伝えられますので、町からの呼びかけに注意してください。



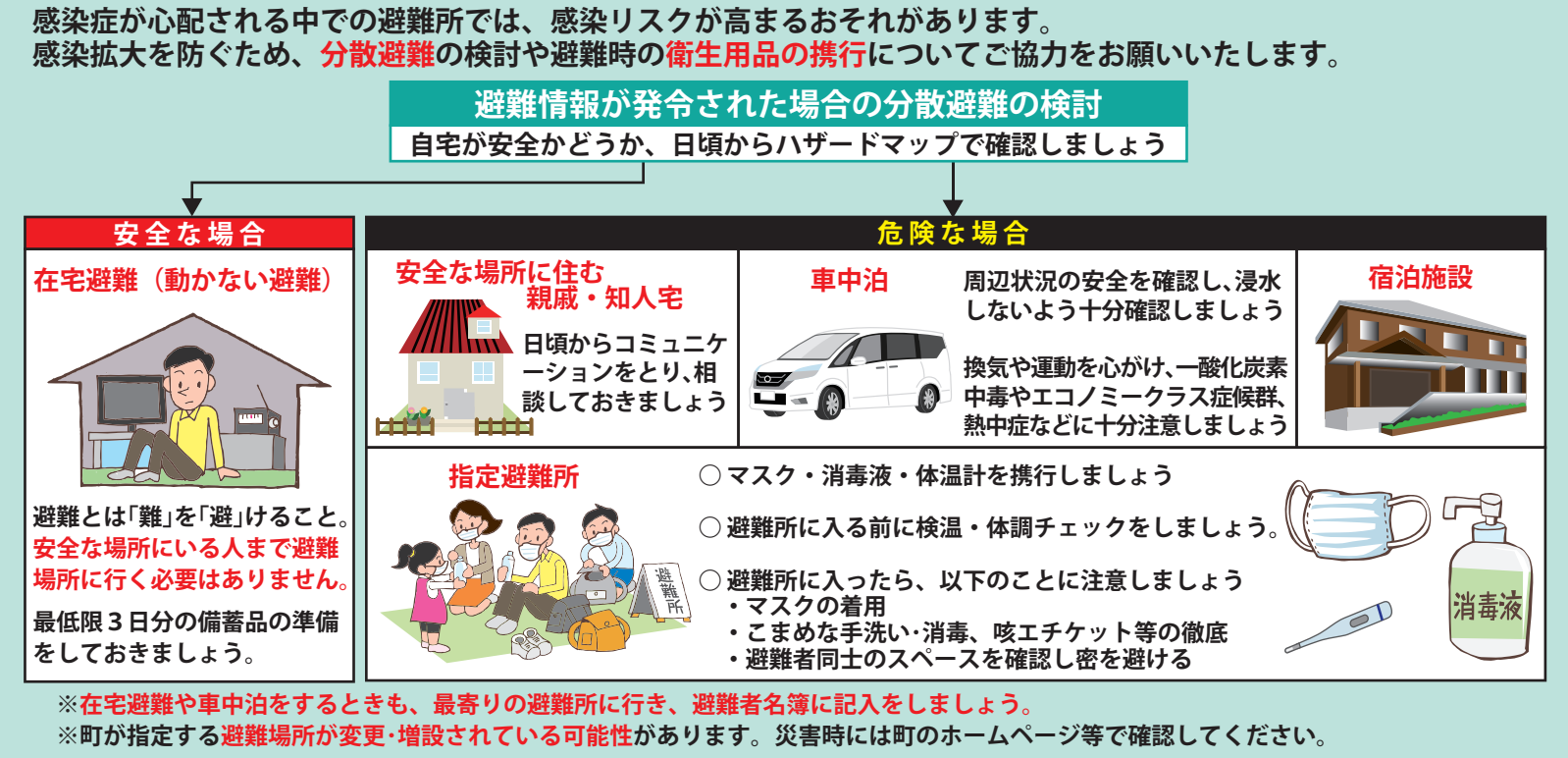
避難の判断について知っておこう

適切な避難行動を確認しよう

洪水(河川の氾濫)によって市街地や建物、畑が水で覆われることを浸水といい、その深さを浸水深といいます。一般の建物では、浸水深が0.5m未満の場合は床下浸水、0.5m以上になると床上浸水するおそれがあり、3m以上では2階も浸水するおそれがあるため、2階への避難ができません。洪水の正しい避難行動は、「浸水が始まる前に避難する」ことです。浸水の中の避難は大変危険です。14～20ページの「洪水ハザードマップ」で、自宅や職場などの浸水等の状況を確認し、下の図からいざというときの避難行動を確認しておきましょう。



新型コロナウイルスなどの感染症流行中の避難について



風水害 土砂災害
マイタイムライン
地震
津波
非常持出品 備蓄品
避難場所一覧表
索引
洪水ハザードマップ
津波ハザードマップ
わが家の防災メモ

風水害 土砂災害
マイタイムライン
地震
津波
非常持出品 備蓄品
避難場所一覧表
索引
洪水ハザードマップ
津波ハザードマップ
わが家の防災メモ